

令和6年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【1年目】

P T A名	静岡県立掛川特別支援学校 御前崎分校 P T A	
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	40人

1. 使用状況

寄贈物品名	電子黒板（プロジェクター型）
使用学年及び人数	高等部1年～3年 40人
使用頻度	週1回の音楽と美術の授業 総合的な探究の時間 各種説明会
使用状況	<p>①各種授業の導入では、本時の学習内容や前時の授業の振り返りなどを映し出した。</p> <p>②総合的な探究の時間では、生徒のプレゼンテーションの場面に活用した。</p> <p>③進路説明会や入学説明会など学校のプレゼンテーションに使用した。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>①前時の学習内容を映し出すことは、生徒が学習のつながりを体感することに大変効果的である。さらに、学習内容に応じて説明動画を映し出すことにより、言葉では伝わりにくい部分を視覚的に分かりやすく伝えることができ、生徒がイメージしやすい支援ができた。</p> <p>②「話す・聞く・書く(メモを取る)」などの国語的な力を軸に、探究学習における主体的、協働的に取り組む態度を育てることに大変効果的だった。</p> <p>③学校概要、授業の様子など、写真及び動画で説明すると伝わりやすく、質疑応答の際には再度投影することにより、来校者の求めている答えを導き出すことに役立った。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>当初の目的である、3階特別教室の活性化は100%達成した。今後も引き続き、ICT活用による学習への興味関心を高め、さらに学習の定着度を上げ、生徒の自立と社会参加の一助となるような授業を展開していきたい。</p>
その他希望や所感など	<p>多目的に使用できる教室が2教室あり、一つはすでに同型の電子黒板が付いており、今回二つめの教室に電子黒板が付き、フロア面積を確保しながら、多種多様な学習活動に使用できるようになった。</p>

2. 活用の様子

【3年生 総合的な探究の時間】



アナログとデジタルの
ハイブリッド型授業
(双方の長所を十分に
活用しています)

12月3, 4, 5日(水、木、金)
☆広島、大阪方面への修学旅行

→ 2日目・3日目の各班の研修内容を
発表し合っている場面



iPad も使用しながら発
表しています

発表することに慣れ、
伝えることを楽しめる
ようにもなりました

